



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東
 コード番号 3908 URL http://www.collabos.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 492 | 2.2 | 60 | 0.5 | 60 | 1.3 | 41 | 2.7 |
| 2019年3月期第1四半期 | 481 | 2.2 | 60 | △18.5 | 59 | △18.4 | 40 | △18.9 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 8.63 | 8.42 |
| 2019年3月期第1四半期 | 8.47 | 8.11 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 2,223 | 1,806 | 79.7 |
| 2019年3月期 | 2,246 | 1,764 | 77.0 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,771百万円 2019年3月期 1,730百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2020年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年3月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 990 | 1.5 | 100 | △25.3 | 98 | △26.1 | 68 | △24.2 | 14.20 |
| 通期 | 2,100 | 6.7 | 320 | 3.1 | 317 | 3.0 | 220 | 4.4 | 45.93 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2020年3月期1Q | 4,789,800株 | 2019年3月期 | 4,789,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期1Q | 32株 | 2019年3月期 | 32株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2020年3月期1Q | 4,789,768株 | 2019年3月期1Q | 4,756,754株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第1四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産において一部弱さが見られるものの、高水準を維持する企業収益と改善が続く雇用所得環境や個人消費の緩やかな拡大により景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方、米国の通商政策や中国経済の減速懸念など海外経済の不確実性により、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社はコールセンター向けに各種クラウドサービスを提供しており、多くの企業においてシステムを自社構築するオンプレミス型からクラウドサービス型へと移行が進む中、当社はこの拡大するクラウドサービス型市場シェアを獲得すべく、オンプレミス型市場を主要ターゲットとして、主に電話系サービスを中心に拡販に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高については、当社主力商品である@nyplace及びCOLLABOS PHONEの電話系サービスを中心に売上高を伸ばしております。@nyplaceにおいては、契約期間満了に伴う終了案件の発生等により期間平均利用席数は微減となりましたが、既存顧客の業務拡大による増席や一時売上、新規契約の獲得等により売上高を伸ばしました。その結果、期間平均利用席数は7,215席（前年同四半期比20席減）、売上高は383,214千円（同1.7%増）となりました。COLLABOS PHONEにおいては、既存顧客の業務繁閑に伴う減席等により期間平均利用チャネル数が減少したものの、新規契約の獲得や業務拡大、通信売上の増加等により、期間平均利用チャネル数は1,149チャネル（同92チャネル減）、売上高は51,277千円（同23.9%増）となりました。

また、顧客情報管理系のサービスであるCOLLABOS CRM及びCOLLABOS CRM Outbound Editionにおいては、契約ID数の減少による月額料金売上の減少はありますが、電話系サービスと組み合わせたトータルソリューションの提供により、当社サービス全体の売上高に寄与しております。COLLABOS CRMについては、期間平均利用ID数は2,270ID（同48ID減）、売上高は36,084千円（同14.6%減）となりました。COLLABOS CRM Outbound Editionについては、期間平均利用ID数は745ID（同5ID増）、売上高は11,569千円（同5.6%減）となりました。

当第1四半期累計期間の売上原価は、268,565千円（同3.5%増）となりました。主な内訳は、各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等設備の保守費用、ホスティング費用、ハードウェアの償却費用等の増加によるものであります。製品・サービス別では、@nyplace関連で202,048千円（同4.9%増）、COLLABOS PHONEで41,080千円（同10.2%増）、COLLABOS CRM（Outbound Edition含む）で18,682千円（同22.8%減）となりました。

当第1四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、162,639千円（同0.9%増）となりました。この主な内訳としては、株主数の増加に伴う関連費用、採用関連費用の増加等によるものであります。

なお、当第1四半期累計期間におきましては、最新 AI 音声認識技術により、コールセンターでの通話内容をリアルタイムでテキスト化し、オペレーターの応対品質やコールセンターの顧客満足度の向上をサポートする「AmiVoice Communication Suite provided by コラボス」を新たにリリースし、コールセンターの課題解決に貢献する新たな付加価値の提供とともに、電話系サービスを含めた販売活動を推進しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は492,004千円（同2.2%増）、営業利益は60,800千円（同0.5%増）、経常利益は60,575千円（同1.3%増）、四半期純利益は41,355千円（同2.7%増）となりました。

なお、当社の事業はクラウドサービス事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて22,347千円減少し、2,223,850千円となりました。主な要因は、売掛金の回収に伴う現金及び預金の増加があった一方、減価償却に伴う有形固定資産の減少等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて65,082千円減少し、416,868千円となりました。主な要因は、未払法人税等、未払消費税等の納付による減少及び買掛金の支払いによる減少、リース料決済によるリース債務の減少等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の部は、前事業年度末に比べて42,735千円増加し、1,806,981千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月8日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,490,676 | 1,512,708 |
| 売掛金 | 234,454 | 205,898 |
| 商品及び製品 | 1,545 | 236 |
| 前払費用 | 23,020 | 26,533 |
| その他 | 2,953 | 4,917 |
| 貸倒引当金 | △46 | △41 |
| 流動資産合計 | 1,752,602 | 1,750,253 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 33,293 | 33,293 |
| 減価償却累計額 | △9,266 | △10,656 |
| 建物(純額) | 24,026 | 22,636 |
| 工具、器具及び備品 | 368,694 | 370,211 |
| 減価償却累計額 | △347,340 | △350,367 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 21,354 | 19,844 |
| リース資産 | 455,921 | 460,991 |
| 減価償却累計額 | △202,744 | △225,066 |
| リース資産(純額) | 253,176 | 235,924 |
| 有形固定資産合計 | 298,557 | 278,405 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 65,378 | 72,888 |
| ソフトウェア仮勘定 | 19,622 | 14,192 |
| その他 | 414 | 414 |
| 無形固定資産合計 | 85,415 | 87,495 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 55,331 | 55,331 |
| 長期前払費用 | 853 | 419 |
| 差入保証金 | 28,016 | 26,525 |
| 破産更生債権等 | 13 | 10 |
| 繰延税金資産 | 25,420 | 25,420 |
| 貸倒引当金 | △13 | △10 |
| 投資その他の資産合計 | 109,621 | 107,695 |
| 固定資産合計 | 493,594 | 473,596 |
| 資産合計 | 2,246,197 | 2,223,850 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (2019年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 77,743 | 66,073 |
| 短期借入金 | 10,000 | 10,000 |
| リース債務 | 94,725 | 92,807 |
| 未払金 | 29,180 | 36,066 |
| 未払費用 | 4,031 | 5,281 |
| 未払法人税等 | 57,786 | 22,737 |
| 未払消費税等 | 22,138 | 14,568 |
| 前受金 | 1,221 | 1,494 |
| 賞与引当金 | 1,000 | - |
| その他 | 2,437 | 3,057 |
| 流動負債合計 | 300,263 | 252,086 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 181,686 | 164,781 |
| 固定負債合計 | 181,686 | 164,781 |
| 負債合計 | 481,950 | 416,868 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 324,614 | 324,614 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 304,614 | 304,614 |
| 資本剰余金合計 | 304,614 | 304,614 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 1,100,905 | 1,142,260 |
| 利益剰余金合計 | 1,100,905 | 1,142,260 |
| 自己株式 | △24 | △24 |
| 株主資本合計 | 1,730,110 | 1,771,466 |
| 新株予約権 | 34,135 | 35,515 |
| 純資産合計 | 1,764,246 | 1,806,981 |
| 負債純資産合計 | 2,246,197 | 2,223,850 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 481,212 | 492,004 |
| 売上原価 | 259,559 | 268,565 |
| 売上総利益 | 221,653 | 223,439 |
| 販売費及び一般管理費 | 161,172 | 162,639 |
| 営業利益 | 60,480 | 60,800 |
| 営業外収益 | | |
| 受取手数料 | 609 | 789 |
| 雑収入 | 10 | 62 |
| 営業外収益合計 | 619 | 852 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,279 | 1,076 |
| 営業外費用合計 | 1,279 | 1,076 |
| 経常利益 | 59,820 | 60,575 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 828 | 184 |
| 特別利益合計 | 828 | 184 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 979 | — |
| 特別損失合計 | 979 | — |
| 税引前四半期純利益 | 59,670 | 60,759 |
| 法人税等 | 19,386 | 19,404 |
| 四半期純利益 | 40,283 | 41,355 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。